

令和元年度一般会計予算

伴社協評議員会は6月1日、令和元年度一般会計予算を決めました。善意銀行からの繰り入れ廃止と事業見直し等を受け、総額は前年度実績より62万4,488円減の286万8,529円としました。

支出面では、各部事業予算の20%減を掲げました。団体助成金（23万3,000円）は「みんなの善意銀行」の特別会計に移しました。

収入面では、町民（3,048世帯）が町内会経由で社協に納める会費（一世帯当たり200円）は全体の2割余。特別会計繰り入れ額は本年度13.9%へ全体に占める依存比率を半減させました。

伴晴英会長は「各部会が見直しの先頭に立った。基盤強化にみなさんの理解をお願いしたい」と協力を求めました。

事業・助成金見直し

伴社協は、超高齢社会への対応や地域共生社会の実現に向け、昨年から事業等を見直す作業を進めています。令和元年度に経費節減を決めた主な項目は下の表の通りです。

お年寄りの交流拠点の一つのサロンや敬老会については補助金額の増大に合わせた措置です。サロンは、今後も充実させたい活動として現在六カ所の会場の増加に努めます。

各種団体助成金の見直しは来年度の検討としました。

<評議員会写真>



見直した主な項目

廃止する	
一人暮らし高齢者 ふれあい会	サロンに併合する
経費を節減する	
グラウンドゴルフ 弁当代	参加者が負担する
敬老会への参加者 補助金	100 円減額(対象者 1 人 500 円→400 円)
サロンへの参加者 補助金	100 円減額(対象者 1 人 200 円→100 円)
子どもと高齢者の ふれあい会補助金	対象を子どもと高齢者 に絞る
夏休みラジオ体操 参加者補助金	対象を子どもに絞る